

旧広島陸軍被服支廠に係る安全対策等工事実施設計 及び文化財指定に向けた価値調査について

1 安全対策工事に伴う実施設計の進捗状況及び進め方について

近隣住民の安全性を確保するためにも、安全対策の早急な実施が必要であることから、令和3年度から令和4年度で建物の安全対策に係る実施設計を進めている。

(1) 実施設計の概要

(期 間) 令和3年11月3日～令和5年3月31日

(受託業者) 株式会社日建設計

(内 容)

- ・ 有識者から国指定の重要文化財級の価値がある旨の意見が示されている旧広島陸軍被服支廠について、近隣住民の安全性を確保するために、耐震性を確保した安全対策と内部見学などの最小限の利活用を同時に実現するパターンを基に、建築物の価値を損なわない安全対策を実施することとし、必要な実施設計を行う。

(2) 進捗状況

令和3年11月に、株式会社日建設計と契約を締結した後、実施設計の一環として行う、屋根等の劣化程度を把握する調査などのほか、全体スケジュールおよび作業方針について、整理を行った。

(3) 補足調査の主な内容

- ・ 屋根の劣化度調査
1～3号棟の屋根瓦を一部撤去し、瓦・スラブ表面等の劣化状況を調査する。
- ・ 鉄骨ブレース設置予定箇所の調査
1号棟1階において、鉄骨ブレース設置予定箇所の配筋状況等を調査する。

(4) 今後のスケジュール

令和4年1月～3月 補足調査の実施
1月～5月 詳細調査の検討
6月～10月 実施設計
10月～3月 積算・とりまとめ

2 文化財指定に向けた価値調査の進捗状況及び進め方について

令和2年12月にとりまとめた詳細調査の結果により、近代建築史や文化財保護分野における有識者から、国指定の重要文化財級の価値である旨の意見が示されたことを踏まえ、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値を確認するために必要な調査を実施している。

(1) 価値調査の概要

(期 間) 令和3年9月8日～令和5年3月31日

(受託業者) 株式会社文化財保存計画協会

(内 容)

- ・ 歴史的調査として、旧広島陸軍被服支廠の沿革や建設後の改変、被爆時の状況、活用履歴等について、調査を行う。
- ・ 建造物調査として、旧広島陸軍被服支廠の構造、意匠、材料、仕様、被爆による影響等について、調査を行う。
- ・ 歴史的調査及び建造物調査を踏まえ、建造物の構造、意匠、材料、仕様、変遷、沿革等を総合的に判断し、文化財的価値の把握及び整理を行う。

(2) 進捗状況

令和3年9月に株式会社文化財保存計画協会と契約を行い、旧広島陸軍被服支廠の沿革や建設後の改変、活用履歴等を明らかにするため、歴史的調査に着手し、広島市公文書館、広島県立文書館、広島大学公文書館、国立公文書館等において資料の探索を行った。

また、被服支廠（倉庫）の建設経緯等を明らかにするため、防衛省防衛研究所戦史研究センターへの調査にも着手した。

併せて、県民に対し、別紙により被服支廠に関わる資料の提供を呼びかけている。

(現時点で判明したこと)

ア 建設経緯に関すること

- ・ 旧陸軍省と広島に置かれていた第五師団との間で交わされていた、建設に係る往復文書等の存在

(主な往復文書)

※ これらの文書において、「別紙」とされている資料については、その所在が明らかになっておらず、引き続き調査を行う。

文書発出日	作成者	件名／概要
明治43年 6月30日	陸軍省 経理局 建築課	<u>広島被服支廠増築倉庫敷地買収の件</u> ・ 増築倉庫敷地として皆実村現在倉庫敷地西方接続民有地約 1 万5100坪の買収について至急伺を出すべし。 ・ 買収区域については、被服本廠長と協議すべし。
明治44年 6月28日	陸軍省 経理局 建築課	<u>広島陸軍被服支廠新築工事の件</u> ・ 別紙設計要領書及び図面により設計の上実施すべし。 ・ 付属工事について、設計図書を添え、実施について伺を出すべし。 ・ 予算は45万円以内を目途とし、戦後整理費倉庫建築費から支弁する。
明治44年10月23日	第五師団 経理部	<u>広島被服支廠倉庫新築工事の件</u> ・ 設計を完成し、経費積算を行った。
明治45年 5月13日	第五師団 経理部	<u>広島陸軍被服支廠倉庫新築工事設計変更の件</u> ・ 別紙設計変更理由書のとおり、将来における修繕及び出入等の不便を考慮し、設計を一部変更したいので、設計図面及び工事費増減仕訳書を添えて伺う。

イ 建築構造に関すること

- 旧広島陸軍被服支廠は、カーン式鉄筋コンクリートやコンプレッソル杭を採用しており、国内においては希少な現存例であると考えられることから、引き続き調査を行う。

(カーン式鉄筋コンクリートを採用した主な現存建築物)

建造物名称	竣工年	所在地	備考
旧広島陸軍被服支廠倉庫	大正2年	広島県	
大谷派本願寺函館別院	大正4年	北海道	国指定重要文化財
軍艦島日給社宅	大正7年～	長崎県	
山口銀行旧本店 (旧三井銀行下関支店)	大正9年	山口県	山口県指定有形文化財
日本工業倶楽部会館	大正9年	東京都	国登録有形文化財
旧露亜銀行横浜支店	大正10年	神奈川県	横浜市指定有形文化財

(コンプレッソル杭を採用した主な現存建築物)

建造物名称	竣工年	所在地	備考
旧広島陸軍被服支廠倉庫	大正2年	広島県	
日本製鋼所室蘭工場	不詳	北海道	
近衛師団司令部庁舎	明治43年	東京都	国指定重要文化財
旧諸戸家住宅	大正2年	三重県	国指定重要文化財

ウ 建造物の利用に関すること

- 戦後、教育機関の教室や学生寮等として使用されていた際の状況の一部が確認できた。

例) 昭和22年ごろの配置状況

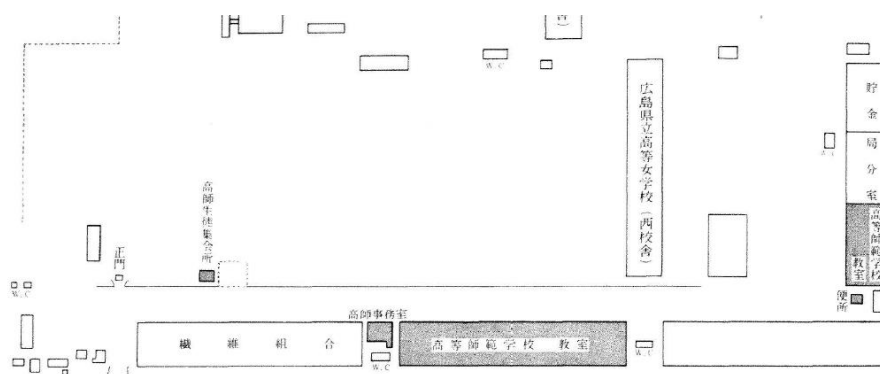


図1-3 広島高等師範学校配置図

出典)『広島大学二十五年史 包括校史』

など

(3) 今後のスケジュール

- 令和4年1月～8月 歴史的調査・建造物調査
- 7月～12月 文化財的価値の把握及び整理
- 5年1月～3月 調査報告書とりまとめ

3 旧広島陸軍被服支廠 安全対策・価値調査等検討会議の今後の開催について

○ 開催日と協議内容（予定）

開催予定	協議内容
第1回：令和4年2月7日	○検討会議会長の選任 ○進捗状況の報告
第2回：令和4年3月～4月	○進捗状況の報告（令和3年度中間報告）
第3回：令和4年9月～10月	○進捗状況の報告 ○実施設計や価値調査の調査報告の原案について
第4回：令和5年2月～3月	○実施設計や価値調査の調査報告の報告及び意見とりまとめ